

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公表番号】特表2008-540829(P2008-540829A)

【公表日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2008-046

【出願番号】特願2008-510033(P2008-510033)

【国際特許分類】

C 2 3 C 14/24 (2006.01)

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 14/24 D

H 0 5 B 33/10

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

粉末材料または粒状材料を加熱された面の上またはその面の近くに計量供給してその材料を気化させる方法であって、

(a) 粉末材料または粒状材料を受け取る回転スクリューを用意し、その回転スクリューを回転させてその粉末材料または粒状材料を供給路に沿って供給位置に移動させる操作と；

(b) 上記供給位置に少なくとも1つの開口部を設け、上記回転スクリューがその供給位置において回転することによって発生する圧力を利用し、上記粉末材料または粒状材料を制御可能な状態でその開口部を通過させて上記加熱された面へと送る操作と；

(c) 上記回転スクリューを用いて上記粉末材料または粒状材料を上記供給位置の近くで攪拌または流動化することにより、その粉末材料または粒状材料を上記開口部を容易に通過させて上記加熱された面へと送り、その面においてその粉末材料または粒状材料を気化させる操作を含む方法。

【請求項2】

上記粉末材料または粒状材料を攪拌または流動化する上記操作を、上記供給位置において1つ以上の移動する面に開口部を設けることによって実現する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

粉末材料または粒状材料を加熱された面の上またはその面の近くに計量供給してその材料を気化させる装置であって、

(a) 粉末材料または粒状材料を受け取る回転スクリューを備えていて、その回転スクリューが回転するにつれてその粉末材料または粒状材料が供給路に沿って供給位置に移動し；

(b) 上記供給位置に開口部を規定する構造を備えていて、上記回転スクリューがその供給位置において回転することによって発生する圧力を利用して、上記粉末材料または粒状材料が制御可能な状態でその開口部を通過して上記加熱された面へと送られ；

(c) 上記回転スクリーを用いて上記粉末材料または粒状材料を上記供給位置の近くで攪拌または流動化する手段を備えていて、その粉末材料または粒状材料が上記開口部を容易に通過する構成の装置。